



週報 佐土原ロータリークラブ

会 長：宮原建樹 副会長：日高邦孝
幹 事：原田宗忠 会 計：竹下 隆
事務局：吉野由里子 会報委員：藤堂孝一

RI2730 地区ガバナー 大迫三郎
中部分区ガバナー補佐 尾崎敏弘
RI 会長テーマ **みんなに豊かな人生を**
2730 地区テーマ 職業奉仕の実践

RI テーマ
みんなに豊かな人生を

例 会 場：サンホテルフェニックス
例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 3083 番地 『ロータリーを実践し
例会場 TEL：0985-21-1313・FAX 0985-21-1347 みんなに豊かな人生を』
事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

第 1310 回例会 平成 26 年 6 月 18(水)

<今日のプログラム>

- 1.) 点 鐘
- 2.) ロータリーソング～♪
♪ 我らの生業
- 3.) 会長の時間
- 4.) 幹事報告
- 5.) 出席報告
- 6.) ハッピーBOX披露
- 7.) 委員会報告
- 8.) 会員卓話「高山茂文君」
- 9.) 次週の例会案内
* 年度末懇親会「割烹住吉にて」
- 10.) 点鐘

第 1309 回例会記録 平成 26 年 6 月 11 日(水)

■ 会長の時間



会長 ●宮原建樹君
皆様お疲れ様です。本日は第 1309 回目の例会です。

今日は名誉会員の山脇忍先生が、お見えになっておられます。先生から 4 月に 30 周年基金に 50 万円の高額な寄付を頂きました。

心からお礼申し上げます。役員で何かお返しをと話している所です。先々週、商工会の総代会のあと藤堂さんと、先生のお宅が近いから遊びに伺ってぜひまた例会にと迎えに来ますと。藤堂さんは久しぶりだったみたいで喜んでおられました。卓話の後お話を頂こうと思います。

月曜日は会員増強委員会と財団委員会との合同委員会の集まりをいたしました。出席の皆さんお疲れ様でした、後ほど原田幹事が吉田君の方から代表で報告を頂きます。先々週 北海道のガソリンの安売り店が延岡に次いで市内にも入ってきた話をしましたね、先週土曜日宮崎からの帰り住吉小前のその店の前を通りますと、お客さんが入っていないどころか誰もいないんですね。ロープが張ってあって機会故障の為休業いたしますと書いてありました。鹿児島からのタンクローリーが遅くなり、まだ届かないからかなあと感じていました、それにしても当番の社員さん 1 人位はいるはずだけどなあと、月曜日広原の福井石油にうちで出来ない

修理用の車を持って行き。所長と近くの安売り店の話になり、土曜日は閉まっていたよと話すと、今日も閉まっているよと、何かとらぶっているみたいですよと、所長が言われていました、午後になりまして福井石油の本社の担当が説明に来て、国富線の瓜生野の市内 1 号店も先週の木曜日から閉まったままで、はっきり解らないが、元売が出荷停止にしているみたいですよとの事、たしかに昨日その修理した車を取りに行った時も、まだ閉まったままでした。今日からガソリンの価格が一段と上がります。今後どうなるか解りません。このような我々の業界の話になりますが、土曜日の日経新聞の 1 面に製油所過剰解消へ再編と載っていました。国内に 23 ある石油元売りの製油所を法的な強制力を持つ新制度を始めて適用し、他社との統合など再編に乗り出し、進まなければ警告も命令も検討すると言うものです。民間企業の経営に国が介入する異例の措置となります。今年の 1 月に経済産業省が産業再編を目的に産業競争力強化法 50 条ができ、まず不況業種の石油業界に初適用させたとの事です。国内製油所の供給は 2~3 割ほど過剰に生産しており、この供給過剰が業転物のガソリンとして系列のガソリンとは別に安く流通しており、元売りも業績が悪化しておりましたがなかなか石油事業の減少に、元売りの自助努力による設備整理が追いついていかないという現状がありました。このような中での第一号の適用ですが、効果が表れると他の産業にも政府が後押しをして再編活発になるといいです。有り難うございました。

■ 幹事報告

幹事●原田宗忠君



<文書報告>

* 2014-15 年度地区補助金配分予定額について

* 野中ガバナー年度地区行事開催スケジュール

<報告>

* 第一期RLIパート2参加者～原田会長エレクト・日高会長ノミニー、(2 名の参加)

■ 出席報告

●長倉祐一郎君

会員数 23 名(2 名)	出席数 19 名
欠席数 4 名	出席率 86.3%



■ ハッピー-BOX披露

●藤堂孝一君

<財団へ>

●梶田與之助君～山脇先生を久し振りにお迎えて。
<30周年基金へ>

- 岩切正司君～山脇先生をお迎えて。
- 村上 實君～久し振りで、迷惑かけています。
- 日高邦孝君～毎回これくらいの出席率を目指しましょう!
- 田邊明美さん～6 月セミナーのお肉をモリモリ食べて元気が出ました。ありがとうございました。
- 長倉祐一郎君～ようやく「四季の恵」ランチが始まりました。水・日曜日は休みです。近くにお寄りの折にはぜひ起こしくださませ。「四季の恵店主」
- 郡司武俊・小百合ご夫妻～6 月が結婚記念月であることをおそらく主人はロータリーで知ることと思います。そんなもんですよ、私達夫婦は……。
- 荒武義博・由美ご夫妻～今年で結婚 27 年目を迎える事が出来ました。辛抱してくれた嫁に感謝しています。そしてここまで我慢した自分を褒めたいと思います。
- 吉田康一郎君～6/2で65才になりました。H7年4月に入会して早いもので 19 年になりました。ロータリーを通じて人生勉強を益々みえます。
- 柳田光寛・由起子ご夫妻～結婚祝いありがとうございました。ここまで 23 年間捨てられずに来ました、残り何年かわかりませんが、嫌われない様努力します。

■ 委員会報告

●吉田康一郎君



先日月曜日に会員増強と財団の合同委員会を行いました。女性会員の増員を始め具体的な意見と、現会員の退会防止にも力を入れる必要があるとの意見でまとまりましたので次年度

は頑張って参ります。皆様のご協力どうぞよろしくお願い致します。

●林 萬松君

社内方針により現在のロータリー会員 5 名のうち 4 名

が総入れ替えという事になりました。7 月からはここサソホテルの支配人上入佐が後任として皆様の仲間入りさせて頂きますのでどうぞよろしくお願い致します。



上入佐支配人の挨拶

■ショートSP

●荒武義博君



今週の土・日・月UMK会館の方で恒例の電化フェアを開催します。お時間の取れる方は是非足をお運び頂けると大変嬉しく思います。よろしくお願い致します。

■ 会員卓話

●郡司武俊君



「歯科治療と薬の関係について」

心疾患、脳梗塞、動脈硬化、などの疾患は抗凝固薬を使用、これは血液が固まらない様にする、心

疾患ではステントを血管に入れている人は特に金属で出来た網目のもので血管を広げているので血栓がメッシュに詰る、これを防ぐのが抗血栓治療法である。しかし血栓治療法は十分なコントロールが必要ですが難しく薬が効きすぎると歯肉からの異状出血、髭剃りなどのちょっとした傷で血が止まらなくなります、内科医はコントロールの指標にPT-INR、これは簡単に言うと出血時間の事です。われわれ歯科では抜歯・歯石除去・口腔外科処置はもとより普通の治療もこのPT-INRの数値で出来ない事がある為このような薬を使用している患者様は常にこの数値を把握する必要があります。狭心症・高血圧・脳梗塞などの疾患は抗血小板療法を受けている患者は血液が止まり難いが特に指標はない。悪性腫瘍・骨粗鬆症。ビスホスホネート系薬剤を服用している患者さん、定期的に注射を受けている患者さんは抜歯・外科処置は出来ません、これはこの治療後に骨が腐る(骨髄炎)の可能性があるので、確率的には少ないのですが腐ったら治りません、顎を半分取った症例も

少なくありません。必ず服用する前に歯科治療をしておかないと、たとえば歯がぐらぐらして痛くても治療は出来ません、抜歯は服用を中止して3ヵ月後となっていますがはっきりとしたエビデンスがないので3ヶ月で大丈夫とは言えません。整形外科ではこの薬を非常に沢山のの人に処方されていますが歯科のことはあまり考えていないようで、当医院もこの薬で抜歯出来ない人が何人もいます。*抗がん剤治療している患者さん・・・がん自体で亡くなる方は少なく合併症で亡くなる方が多い。たとえば肺線維腫・白血球の減少による感染・血小板の減少による出血・口腔内では歯肉炎・抜歯からの出血、抗がん剤治療は今話した副作用の事も踏まえて行います。これは症例によって変わります、抗がん治療の時の歯科の外科処置は次のクールの前2,3日前に行う、これはある程度血小板・白血球が改善しているため。抗がん剤の副作用には口の中にできる口内炎・歯肉出血があり、食事が十分できないため患者の体力が低下して十分な効果が得られないこともあるようです、以前はドクターサイドでは薬の副作用なので仕方が無いと考えられていた、しかし現在は抗がん治療を行う前にまず、主治医から歯科医にコンサルがありわれわれが先ず歯肉の治療・歯石除去・ブラッシング・充填処置・保存不可能な歯の抜歯などを処置して口腔内を正常な状態に戻して抗がん薬治療を行うことで口内炎などの症状が軽減して摂食嚥下が改善した。心疾患・脳血管障害・骨粗しょう症・肝臓疾患・エイズ・妊婦・アレルギーなどわれわれ歯科医と医師の連携が重要になってきます。患者さんも自分疾患を認識して必ず医科・歯科など受診した時は自分の疾患を伝える事が大切です。

■ ゲストスピーチ

●山脇忍名誉会員

《ロータリーの奉仕》



「ロータリーの奉仕は、長い竿で空の星を掻き回すようなことをするのではなく、足元の小石を拾うようなものである。」

これは1949年11月に創立した一宮ロータークラブのチャータープレジデントであった、安野謙次氏の認証状伝達式での、演説の言葉であります。一宮ロータークラブは戦後日本で新しく生まれた第一番目のクラブであります。この時の認証状伝達式(チャーターナイト～1950年1月中旬に開催)に出席されたRI会長代理はアンガス・ミッチェル氏(1948年度のRI会長・オーストラリア・メルボルンRCの会員)でありました。この言葉が、RI会長代理のミッチェルさんの考えにアピールして、彼はこの言葉を手帳にメモして、世界各地の地区大会で使われたそうであります。あるクラブの会長さんが、地域社会でどんな足元の小石を拾えるか、会員の皆さんに考えて欲しいと申しました。たちどころに、クラブの元老会員の1人が、どうせ一度は死なねばならない。死んでも奉仕が出来るように、

学術研究の為に死体を解剖学に寄贈すると宣言、実行しました。1人の会員は、自分の職場の窓を花で飾って、道行く人の眼を楽しませようと宣言しました。ある会員は、住んでいる団地の美化をしようと、毎朝団地のごみ拾いを始めたら、団地の人が手伝ってくれて、拾うごみがなくなった。それでは団地を花一杯にしようと始めたら、みんなが手伝ってくれて、もう花を植えるところがなくなった。今度は団地の緑化運動を始めると言うことです。

* 人に会えば、にこやかに、こちらから挨拶しよう。どんな時でも親切な言葉掛けしよう。と身边にできることをみんなが宣言し、実行を始めました。小石はどんなところにもゴロゴロしています。邪魔だ邪魔だと言うだけでは小石は無くなりません。必要なことは、背を曲げて手を差し伸べることです。* 以上は安野謙次著「はげすめ」及び齋木亀次郎著「信天翁(AHOUDORI)」より。

2014、6・11(水) 文責 山脇 忍



例会の様子



会員増強委員会とロータリー財団の合同委員会の開催が実施され次年度に向けての活発な意見が交換されました。

4つのテスト

『言行はこれに照らしてから』

1. 真実かどうか。
2. みんなに公平か。
3. 好意と友情を深めるか。
4. みんなのためになるかどうか。